

2025 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	近藤 伸介
研究テーマ	ユクスキュルの環世界と唯識の器世間
研究概要	本研究では、20世紀前半の生物学者ユクスキュルが提唱した「環世界Umwelt」という概念と大乘仏教の唯心論哲学である唯識が語る「器世間bhājana-loka」という概念について比較し、その共通点と相違点を明らかにすることで、生物学と仏教をつなぐ接点を探ろうとするものである。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>生物学者で哲学者でもあるヤコブ・フォン・ユクスキュルが提唱した「環世界 Umwelt」という概念と大乘仏教の唯心論哲学である唯識が語る「器世間<sup>きせけん</sup> bhājana-loka」という概念について比較思想研究を行った。「環世界」と「器世間」は、ともに現代語における「環境」に近い言葉であるが、この両概念の比較分析を通して明らかになるのは、ユクスキュルと唯識に共通する、「我々が認識している環境とは、客観的実在ではなく、あくまで個々の生物によって造り出される主観的な表象である」という見解である。本研究では、ユクスキュルの『動物の環世界と内的世界 Umwelt und Innenwelt der Tiere』と『動物と人間の環世界への散策 Streifzüge durch die Umwelten von Tieren und Menschen』、及びアサンガ（無著、無着）の『撰大乘論 <sup>しょうだいじょうろん</sup> Mahāyāna-saṃgraha』とヴァスバンドゥ（世親）の『唯識二十論 <sup>むじやく</sup> Vimśatikā-vijñapti-mātratā-siddhiḥ』を採用し、両者が語る「環世界」と「器世間」の共通点と相違点を明らかにした。本研究の目的は、生物学と仏教という全く異なる両分野の接点を探り、両分野が互いに学び合い、深め合うような比較思想研究の可能性を見出すことである。以上の研究の成果を日本仏教心理学会で発表した。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>〔発表〕 単「ユクスキュルの環世界と唯識の器世間—生物学と仏教をつなぐもの—」2025年度日本仏教心理学会全体会（2025年10月18日、オンライン）</p>
3. 今後の課題	<p>今後は、まず上記の研究を論文という形で公表したい。そして、新たに唯識とカントの認識論についての比較思想研究を行う予定である。両者の認識論は、基本的な部分で共通していると思われる一方、心の外に世界は存在するのか、という点で異なっている。特にカントの「物自体 Ding an sich」という概念に注目しながら両者の共通点と相違点を明らかにしてみたい。</p>